

受診に際してのお願い

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当面の間、次の方は、受診をお断りしていただきますので、体調が回復してから受診してください。症状が続く場合は医療機関にご相談ください。

- ◆発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚異常、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐などの症状のある方
- ◆過去1週間以内に発熱のあった方
- ◆明らかな誘因なく4～5日続く下痢等の消化器症状のある方
- ◆2週間以内に、諸外国への渡航歴がある方
(およびそれらの方と家庭や職場内等で接触歴がある方)
- ◆2週間以内に、新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者(同居者・職場内での発熱含む)と接触歴がある方
- ◆新型コロナウイルスの患者に濃厚接触の可能性があり、待機期間内(自主待機も含む)の方

新型コロナウイルスに感染すると悪化しやすい高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患の基礎疾患のある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方には、受診延期も考慮していただきます。

来館の際は各自マスクを着用していただきます。マスク不足が深刻な折、ご自身で用意してください。マスクの着用がない場合は受診をお断りさせていただきます。また、筆記用具(ボールペン等)をご持参ください。

入口等にアルコール消毒液を用意しておりますので、受診者様には入館時と退館時のほか、健診中も適宜手指消毒をお願い致します。アルコールを使えない方には、界面活性剤配合のハンドソープ等により手洗いをお願い致します。

受付後、非接触型体温計で体温を測定しますので、ご協力をお願い致します。

健診中は換気を定期的に行いますが、外気温が低い季節では室温が下がるため、カーディガン等羽織るものを事前に手元にご用意ください。

健診終了後はアルコール消毒液で手指消毒をお願い致します。

受付時間を守り、密集・密接を防ぐことにご協力をお願い致します。

裏面もご確認ください

当センターの感染症対策について

施設内健診について

スタッフ全員にマスク着用と検温を義務付けております。

受診者様と接する機会の多い一部の医師、看護師、臨床検査技師、放射線技師および事務職員はフェイスシールドやグローブを着用させていただくことがあります。

受付や検査実施場所等にビニールカーテンを適宜設置してあります。

待合スペース等館内の着席可能な椅子の間隔をあげ、ソーシャルディスタンスが保たれるよう配慮致します。

更衣室のご利用に関して、密集・密接をできるだけ回避できるよう入室人数を調整させていただきます。

ロッカー・トイレ・手すり・エレベーターの押しボタン等受診者様が触れやすい部位について、アルコールや次亜鉛素酸ナトリウムにて定期的に清拭し、環境衛生に努めます。

ドア・窓等の定期的な換気に努めます。

待合スペースに設置していた新聞や雑誌類を撤去させていただきます。

巡回健診について

施設内健診における対応と同等の受診環境を提供できるよう努めます。

お待ちいただく間の受診者様間の距離（ソーシャルディスタンス）が保てるようご協力をお願い致します。

お待ちいただく間の会話は必要最小限をお願い致します。

レントゲン車での胸部撮影はお一人ずつとさせていただきますので、お着替え時間を短縮するため、事前に下着など金具の付いているものを外してご準備をお願い致します。